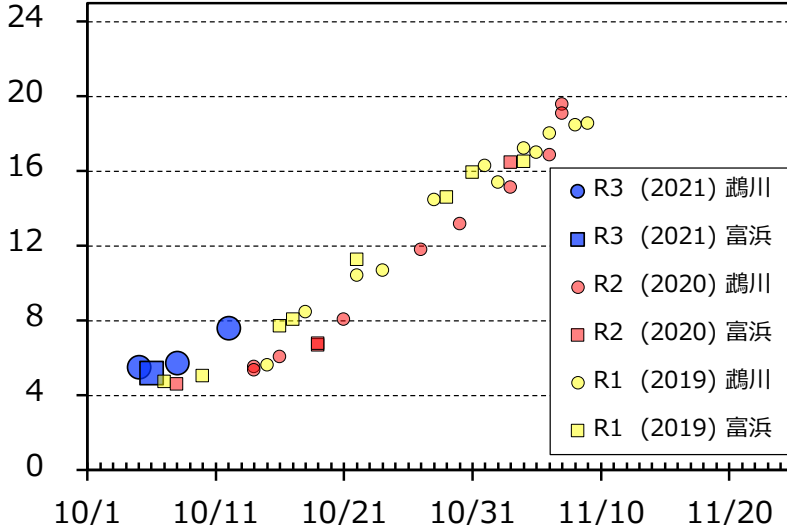


① 成熟の進行 (10/12現在)



10月12日までのメスのGSI (卵巣重量÷体重×100) の上昇は過去2年と比較すると高い値で推移しています。

図1 メスの生殖腺重量指数 (GSI) の変化

② 体長組成

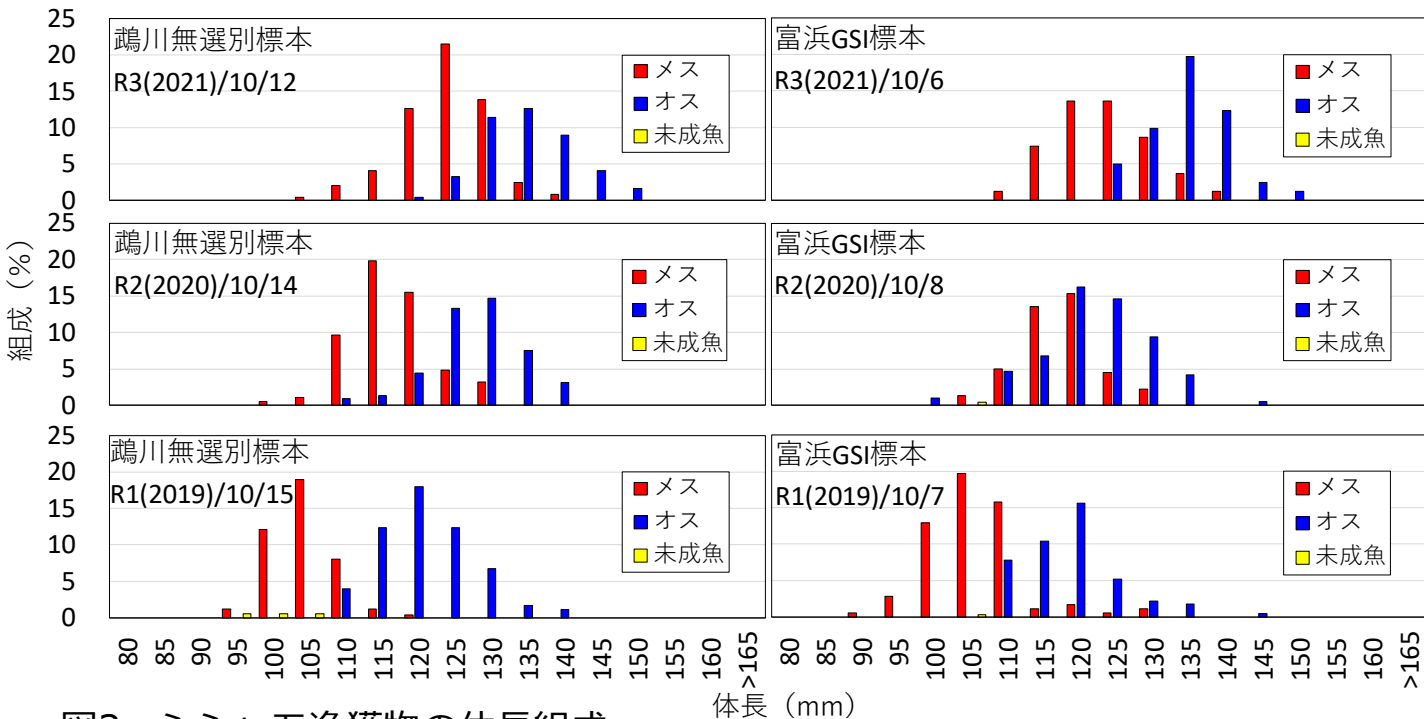


図2 シシャモ魚獲物の体長組成

令和3年(2021)は過去2年に比べて雌雄ともに大型です。
メスは125~130mm、オスは135~140mmに中心サイズが見られます。
未成魚はみられていません。

③ ししゃもこぎ網漁獲状況 (10/20現在)

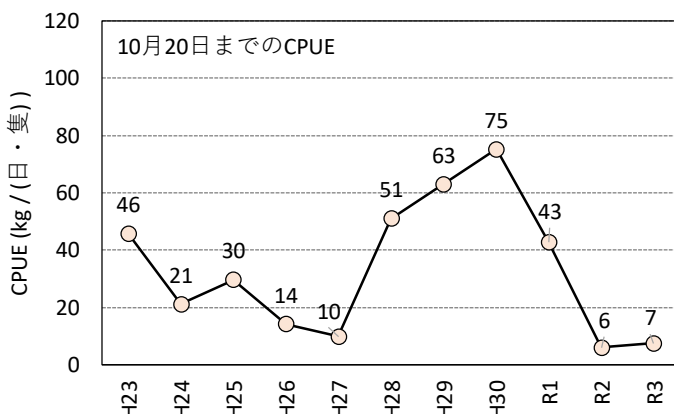
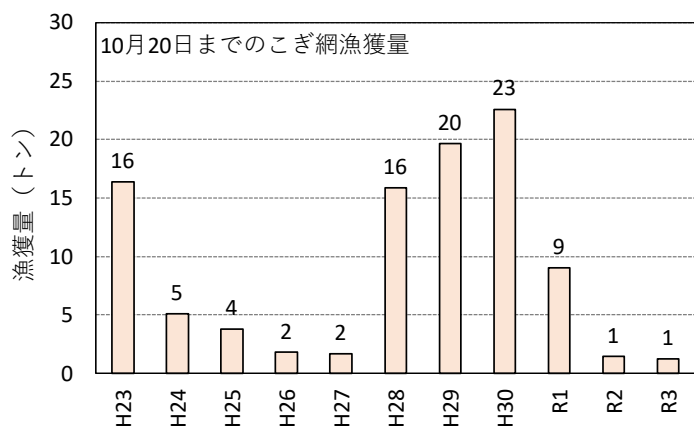


図3 胆振管内ししゃもこぎ網漁業漁獲量とそのCPUE (1日1隻あたりの漁獲量)

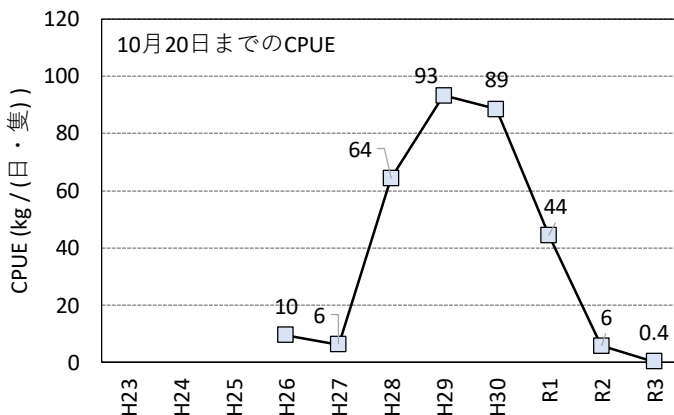
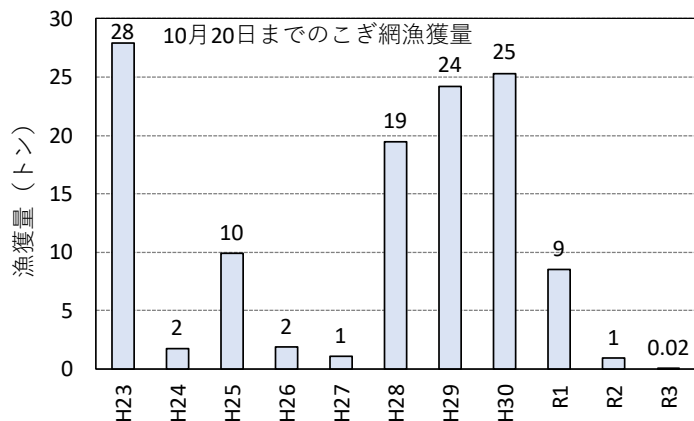


図4 日高管内ししゃもこぎ網漁業漁獲量とそのCPUE (1日1隻あたりの漁獲量)

ししゃもこぎ網漁獲量は、平成23年（2011）以降、過去最低となっています。
 日高管内のCPUE（1日1隻あたりの漁獲量）も過去最低となっています。
 胆振管内のCPUE（1日1隻あたりの漁獲量）は令和2年（2020）に次いで過去2番目に低い値となっています。

今年度も11月はじめに遡上予測日を発表する予定です。